

# 光南台キネマ

(R5年4月～R6年3月)

| 日時                          | 上映表(予定)  |
|-----------------------------|--|
| 4月15日<br>(土)<br>9:30～11:45  | <b>チャップリンの独裁者</b> (1940・米・モノクロ・126分)<br>監督 チャールズ・チャップリン 出演 チャールズ・チャップリン, ポーレット・ゴダード, ジャック・オーキー<br>チャーリー・チャップリン初のトーキー作品で最高傑作とも言われる風刺コメディ。第1次大戦末期、トメニア国の兵士として戦線に出ていたユダヤ人の床屋チャーリーは、戦傷によりすべての記憶を失ってしまう。戦後、トメニアは独裁者ヒンケルが支配する国となりユダヤ人迫害を開始。そんな中、激変した状況を知らない床屋のチャーリーが退院し、ゲットーに帰ってくる。                          |
| 5月20日<br>(土)<br>9:30～11:15  | <b>美女と野獣</b> (1946・仏・モノクロ・93分)<br>監督 ジャン・コクトー 出演 ジャン・マレー, ジョゼット・デイ, ミラ・パレリ, ナーヌ・ジェルモン他<br>コクトーの映画構成は、野獣の花園から薔薇を摘んだことによって死刑にされるベルの父親を中心に展開される。ベルは野獣に父親を還してほしいと頼む。野獣はベルに恋をして、一晩中結婚を申し込むが、ベルは拒む。野獣はベルが家族の元に還ることを許すが、もし彼女が1週間以内に戻らなければ父親を殺すという試練を課す。最終的にベルは、野獣に魅かれるようになる。                                  |
| 6月17日<br>(土)<br>9:30～11:30  | <b>サクラサク</b> (2014・日・カラー・107分)<br>監督 田中光敏 出演 緒形直人 南果歩 矢野聖人 美山加恋 藤竜也 NAOTO 津田寛治 嶋田久作 佐々木すみ江 大杉漣<br>歌手、さだまさしの小説集「解夏」の中の同名作品を映像化したヒューマンドラマ、主演は緒方直人。さだまさしと父との思い出を元に描かれた。祖父のアルツハイマーで崩壊寸前だった一家がゆっくり再生してゆく…。  |
| 7月15日<br>(土)<br>9:30～11:20  | <b>断産</b> (1941・米・モノクロ・100分)<br>監督 アルフレッド・ヒッチコック 出演 ケイリー・グラント, ジョーン・フォンテイン, セドリック・ハードウィック, ナイジェル・ブルース<br>原題が示すように、夫に対して“疑惑”の念に取り憑かれた妻を描いたヒッチコックの心理スリラー。原作はフランシス・アイルズの『犯行以前』。ずさんな財産管理の仕方や、懸命に毒薬について調べている夫の姿を見て、妻の疑念は日々増していく。そして、家を出ようとした妻を乗せたまま、夫の運転する車は断崖目指して突き進む…。                                    |
| 8月19日<br>(土)<br>9:30～11:50  | <b>緑園の天使</b> (1945・米・カラー・128分)<br>監督 クラレンス・ブラウン 原作 イーニッド・バグノルド 出演 ミッキー・ルーニー, ドナルド・クリスプ, エリザベス・テイラー<br>イギリスの片田舎にある肉屋の娘・ヴェルヴェット。ある日彼女の家に、騎手くずれの少年・マイがやってくる。馬好きなヴェルヴェットは彼と近所の暴れ馬・パイを見に通い、頑なだったマイの心も次第に和んでいく。やがてパイが競売にかけられることになり…。   |
| 9月16日<br>(土)<br>9:30～11:50  | <b>マダム・イン・ニューヨーク</b> (2012・印・カラー・134分)<br>監督 ガウリ・シンデー 出演 シュリデビ, アディル・フセイン, アミターブ・バッチャン, メディ・ネブー, プリヤ・アーナンド<br>自分の価値を認めてもらえない専業主婦が一念発起し、英語が苦手というコンプレックスを克服して誇りと自信を取り戻していく姿を描いたインド製ドラマ。専業主婦のシャシは、2人の子どもと忙しいビジネスマンの夫サティシュのために尽くしてきたが、事あるごとに家族の中で自分だけ英語ができないことを夫や子どもたちからかわれ、傷ついていた。                        |
| 10月21日<br>(土)<br>9:30～11:20 | <b>オズの魔法使</b> (1939・米・カラー・101分)<br>監督 ヴィクター・フレミング 原作 ライマン・ فرانク・ホーム 出演 ジュディ・ガーランド, レイ・ポルジャー, ジャック・ヘイリー<br>エムおばさん、ヘンリーおじさん、そして下働きのハンク・ヒッコリー・ジークとともにカンザスの農場に住む少女ドロシー・ゲイルは「虹の彼方のどこかに(Somewhere Over The Rainbow)」よりよい場所があると夢見ている。彼女はトルネードに襲われて気を失った後、愛犬のトトや自分の家とともに魔法の国オズへ運ばれてしまう。                       |
| 11月18日<br>(土)<br>9:30～11:25 | <b>シアター・ソポン</b> (2014・カンボジア・カラー・105分)<br>監督 ソト・クオーリーカー 出演 マー・リネット, ソク・ソトウン, ディ・サヴェット<br>カンボジアで生活している女子大生のソポン(マー・リネット)は、ある日、偶然入った古い映画館で、母(ディ・サヴェット)が若いころに主演を務めた映画を目にする。その作品はクメール・ルージュが圧政を敷いた前年に作られ、公開されなかった上にラストシーンが失われていた。一方、ソポンの姿に映画館の主人のベチア(ソク・ソトウン)は、愛した人を思い出していた。                                  |
| 12月16日<br>(土)<br>9:30～10:50 | <b>クリスマス・キャロル</b> (1938・米・モノクロ・69分)<br>監督 エドウィン・L・マリン 原作 チャーエルズ・ディケンズ 出演 レジナルド・オーウェン, ジーン・ロックハート<br>『クリスマス・キャロル』は、1843年に出版された、チャールズ・ディケンズの小説。冷酷でけちな老人スクルージが、以前の共同経営者であったマーレイの幽霊と、そのマーレイの幽霊によって呼び起こされた過去の幽霊、現在の幽霊、未来の幽霊の導きによって親切な心を取り戻すまでが描かれた、心温まる物語。  |
| 1月20日<br>(土)<br>9:30～11:20  | <b>赤い櫻(たすき)・富岡製糸場物語</b> (2017・日・カラー・100分)<br>監督 足立内仁章(あだちさとし) 出演 水島優, 吉本実憂, 桐島ココ, 木村夏子<br>明治5年という時代の空気で、群馬県富岡市の製糸場を舞台に当時の製糸場にまつわる人々の努力を再現した感動作品。富岡製糸場といえど「女工哀史」を連想するのであるが、本作品はそういう暗いイメージではない。明治初期の当時の日本の新たな産業の扉を開いた人々の、努力と活躍を描いた希望に溢れた作品となっている。  |
| 2月3日<br>(土)<br>9:30～11:20   | <b>そして誰もいなくなった</b> (1945・米・モノクロ・97分)<br>監督 ルネ・クレール 出演 バリー・フィッツジェラルド, ウォルター・ヒューストン, ルイス・ヘイワード<br>『犯罪小説の女王』と呼ばれた故アガサ・クリスティが40年に発表した同名小説の映画化第1回作品。本土から遠く離れた孤島に8人の男女が招待される。だが孤島の別荘には主人の姿が見えず、召使いのロジャース夫婦がいるだけだった。彼らはいずれも手紙で招かれたもので差出人のユー・エヌ・オーエン(U. N. Owen)を誰も知らなかった。本土との連絡は数日後に来るボートだけで、それ迄彼らは島にとじ込められる。 |
| 3月2日<br>(土)<br>9:30～11:20   | <b>バルカン超特急</b> (1938・英・モノクロ・98分)<br>監督 アルフレッド・ヒッチコック 出演 マーガレット・ロックウッド, マイケル・レッドグレイヴ, ポール・ルーカス<br>列車という密室を舞台に、主人公の男女が孤立無援に陥る心理サスペンス。ロンドン行きの列車に乗り込んだアイリスは、ミス・フロイという老女と知り合う。しかし一眠りしたあと気がつくと彼女の姿がこつ然と消え、乗客のみんなが存在を否定する。魔術師や尼僧、脳外科医など疑わしい連中ばかりの四面楚歌の状況下、1人の青年と共に彼女の捜索を始めるが……。イギリス時代を代表するヒッチコックの傑作。          |

※ 年度当初の予定であり、変更になる可能性もあります。

● 申し込み・問い合わせ先

岡山市立光南台公民館 岡山市南区宮浦1324 (☎ 267-1255)

E-mail [kounandai\\_k@city.okayama.lg.jp](mailto:kounandai_k@city.okayama.lg.jp) →

